

原発再稼働阻止 全国ネットワーク ニュース



ニュース 30 号
2026年
2月14日

発行
再稼働阻止
全国ネットワーク

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 3-3-1 TKiビル3Fたんぼ舎気付

15年前の東電福島第一原発事故を忘れない、
東京電力の悪事を許さない

地震大国での原発再稼働は、日本破滅への道だ！

3.11 東電本店抗議、日本原電抗議にご参加願います

3月11日(水)16:45～日本原電抗議 18:45～東電本店合同抗議

2012年春。6月に大飯原発の再稼働阻止の為に全国から若狭に集結した。再稼働阻止全国ネットワークは、この年の11月、たんぼ舎や経産省前テントひろば等の団体・市民や原発現地の皆さんの呼びかけで発足した。審査合格初の川内原発の再稼働阻止の為に「川内の家」を設け、全国の皆さんと、鹿児島・薩摩川内・福岡で再稼働反対を訴えた。残念ながら、2015年8月に川内原発の再稼働を許してしまい、約2年間の日本列島原発稼働ゼロに終止符を打った。

その後、伊方原発の再稼働阻止の為に「伊方の家」に集結し、若狭の原発の再稼働阻止の為に「老朽原発うごかすな！実行委員会」に呼応して若狭に集結したが、再稼働されてしまった。

そして一昨年末に島根、女川が稼働され、福島第一原発事故を起こした東京電力まで柏崎刈羽原発の再稼働を目論み始めた。

再稼働阻止全国ネットワーク東京事務局は、2024年から再稼働阻止に向けて集会や抗議行動を行い、院内ヒアリング集会やネット署名、新潟県庁包囲行動への参加などに取り組んできた。また、首都圏では、東電本店抗議、日本原電本店抗議、経産省前抗議、原発いらぬ金曜行動、柏崎刈羽原発動かすな首相官邸前抗議が行われている。

能登半島地震後、LCO逸脱続きの柏崎刈羽6号機も、新潟県と東京の多くの反対行動にも拘わらず、1月21日夜に再稼働。ところが5時間程で制御棒トラブルで停止した後、2月9日に再稼働された。

「原発ホワイトアウト」同様に柏崎刈羽のメルトダウンが起こらないかとても心配だ。

トラブル続きの原発再稼働を許し、中部電力の基準地震動策定における悪意の不正を見抜けず隠し続け「水平展開」しない山中原子力規制委員会は地に落ちた。(文責-木村雅英)

**老朽被災原発-東海第二原発をとめよう！
「3.11 日本原電本店抗議」**

2026年3月11日(水) **16時45分～18時**

場所-日本原電本店前

・JR秋葉原駅 昭和通口徒歩8分

・地下鉄銀座線末広町駅 徒歩4分

主催-とめよう！東海第二原発首都圏連絡会

**東京電力は福島原発事故の責任をとれ！
「第150回東電本店合同抗議」**

2026年3月11日(水) **18時45分～20時**

場所-東京電力本店前

呼びかけ-経産省前テントひろば/たんぼ舎

賛同-東電株主代表訴訟等141団体



フクシマから 〈原発いらね！ふくしま女と仲間たち 黒田節子〉

第3回「請戸川河口テントひろば」主催の「初日の出を見る会」があった。年末30日、なみえ道の駅で関東組と合流し、午後から「学びの会」を開催。三春町の写真家・飛田普秀さんが「福島は安全になったのか」のテーマでパワポ講演を、黒田が「イノベーションコースト構想」についての報告。

希望の牧場-吉澤さんからは25頭の牧草地に2千頭の牛を飼育する「復興牧場」が町内にまもなく建設…等々の報告がなされた。このすざまじい被災地の現実を、全国に知らせる活動が必要だと確認された。

希望の牧場で炬燵を囲んで交流。満天の星だった。31日いわき市古滝屋の考証館を見学。1日、まだ暗い中を請戸海岸着。テントひろばで薪ストーブを焚き、料理を始めたら初日の出。♪サンライズ サンセット…プロの森田留美さんの歌声が凜とした空気の中に流れてきた。熱々のお雑煮を食べながら原発廃炉までがんばるぞ！と誓い合う。



フクシマ原発事故から15年、原発と核ゴミを考える3.14集会 〈北海道岩内町 佐藤英行〉

泊原発3号機は、12年に及ぶ原子力規制委員会の新規規制基準の適合性審査を経て、昨年7月30日ようやく審査に合格をした。北海道電力は30回の地元説明会、北海道主催7カ所、北海道と資源エネルギー庁主催6カ所の説明会。規制委員会・内閣府・資源エネルギー庁・北電の内容は推進説明会。

2022年5月札幌地裁は防潮堤が不備として運転差し止めを命じた。北電は既存防潮堤を撤去し、新しい防潮堤を1800億円かけて建設するとして、2027年完成を目指して現在工事中。

「原発を動かさない・核ゴミは持ち込ませない」として3月14日（土）、1部・原発避難者の会から・泊原発現地から・核ゴミに揺れる寿都町からの発言を経て2部「訴訟から見てきた日本原発政策」と題し海渡雄一さんの講演が行われます。札幌市社会福祉総合センターへ多くの方の参加を求めています。



〔写真 今や巨大な生コン工場と化した泊原発敷地〕

再稼働めざすどころか廃炉しかない！ 〈東海第2原発差止訴訟団 披田信一郎〉

東海第二にとっての3.11

15年目の3.11は、福島に隣接県として放射性プルームに襲われ、県土が「ホットスポット」と呼ばれた汚染地帯になったこと、そしてその日、東海第二原発が、津波を被ってアワヤというところまで行ったことを、改めて思いおこさねばならない日です。この日は、つくば市を始め県内各地で集会やスタンディングで「東海第二は再稼働どころか、廃炉にせよ」と、声をあげます。

津波対策に必要な20mの防潮堤建設で、真正面で津波を受ける「鋼製防護壁防潮堤」の地中基礎が欠陥工事となり、その設計変更で工事認可の再審査中。最初から作り直すほかないと思われる無理筋の申請に、原電側の説明、審査は2年越しとなり、3回の延期を経て今年12月とされる対策工事の予定は、社長自ら「極めて厳しい」と言わざるを得ない事態となっている東海第二原発の現実です。

《施工不良場所とその内容》

- ①取水口部分の防潮堤基礎となる南北2つ「地中連続壁」のコンクリートの未充填
- ②鉄筋の変形
- ③北側基礎の一部鉄筋が所定の深さまで到達していない





3.1 みやぎ金曜デモ 600 回記念、 そして 3.28 さようなら原発宮城県民集会へ

〈みやぎ脱原発・風の会 館脇章宏〉

2012年7月に始まった「みやぎ金曜デモ」も600回になります。3月1日のビキニデーに、仙台市錦町公園で記念のデモを行います。「女川原発の再稼働を止めよう！」を合い言葉に歩き続けて来ましたが、残念ながら2024年末、女川2号機が再稼働してしまいました。しかし私たちはへこたれてはいません。

そして3月28日には「さようなら原発宮城県民集会」が開催されます。

女川2号機は、特重施設を設置期限までに完成させることが出来ないため、今年12月で一旦停止します。しかし、そもそも特重施設がないまま稼働を続けるべきではありません。この1月に定期点検に入った2号機は、そのまま廃炉に向かうべきです。

稼働していたこの1年、女川2号機では水素濃度検出器の異常や制御棒が手動で入らない等のトラブルが相次いでいます。福島原発事故から15年、改めて原発ゼロを目指して共に頑張ろう！

福島原発事故から15年
わたしたちはフクシマを忘れない！

2026 さようなら原発 宮城県民集会

3/28(土) 14:00 集会 START
14:45 アピール行進
勾当台公園 いこいの広場

仙台市青葉区本町3丁目 野川緑の野外音楽堂の下エリア等

◆女川原発2号機は、予口対策施設を設置期限までに完成させることが出来ないため、今年の12月で稼働を一旦停止します。設置期間が守れないことが明らかになった以上、もはや稼働させるべきではありません。
◆女川原発に使用済み核燃料の乾式貯蔵施設を設置する計画が進められています。一時的な貯蔵としていますが、最終時期は示されていません。女川を半永久的な「格のゴミ捨て場」にさせないために、この計画に反対します。
◆女川原発2号機で、水素濃度検出器が異常を示す。制御棒が手動で入らない等のトラブルが相次いでいます。しかし東北電力には徹底的な原因究明の姿勢がありません。包括的な安全審査-老朽原発である女川原発を廃炉にすることを求めます。
◆経済対原発の再稼働など、現政権が進める「原発回帰」政策に断固反対します。福島原発事故を忘れるべきではありません。福島原発事故から15年、改めて「原発ゼロの日本」をめざします。

雨天決行

主催 さようなら原発みやぎ実行委員会
連絡先 090-1673-6381 (多々良) E-mail: hag0714@nifty.ne.jp

さようなら！にいがた県知事 花角英世様

〈長岡市 小木曾茂子〉

2025年11月21日、花角新潟県知事は「柏崎刈羽原発6, 7号機の再稼働について容認する」と記者発表をしました。12月県議会には県当局から「国の補助金3,142万円で、原発の安全・防災対策に関するパンフレット等を作成し、全戸に配布する為の補正予算」が計上され、それを議会が可決することで、「再稼働が容認されたものとする。」との方針が示されました。

それではあまりに曖昧と思ったのか自民党県議団は「知事の判断を是とする」という付帯決議をつけてこれを議決し、地元同意が整ったことにしました。

県民意識調査で60%を超える人びとがNOと言ったにもかかわらずです。思えば、2025年4月県議会で15万近い県民署名を反故にして「県民投票条例」の制定を否決して以来、公聴会も、県民意識調査も県民世論を再稼働容認に導くためのプロパガンダとして行われてきました。5月には知事選があります。今度は私たちが花角県政にNOを言う番です。



必ず止める！地震大国の原発で今度はプルサーマル運転

〈さよなら島根原発ネットワーク 芦原康江〉

1月6日。島根原発から30km南東の活断層を震源とするM6.4の地震が発生し、住民は強い揺れに不安を感じた。中国電力は、何事もなかったように、稼働している2号機の40年越えの長期運転も視野に入れ、プルサーマル運転を行うために島根県、鳥取県等への説明を始めている。驚くことに、浜岡原発で使われる予定であったMOX燃料60体を中国電力が使うのだという。

島根原発の直近ではM7クラスの地震が想定されているのだ。何としてもこの動きは止めなくてはならない。島根県内では、3月には核のゴミについて講演会が企画され、松江市内でも講演会が予定される。私たちは、プルサーマルの危険性を宣伝し、島根、鳥取両県知事あての署名活動や要請活動等でこの危険なたくらみを止めていきたい。



2月15日「相談会 原発依存加速をゆるすな～運動の拡大に向けて」及び、
6月7日「原発のない明日を！全国集会 in おおさか」に全国からご参加ください！

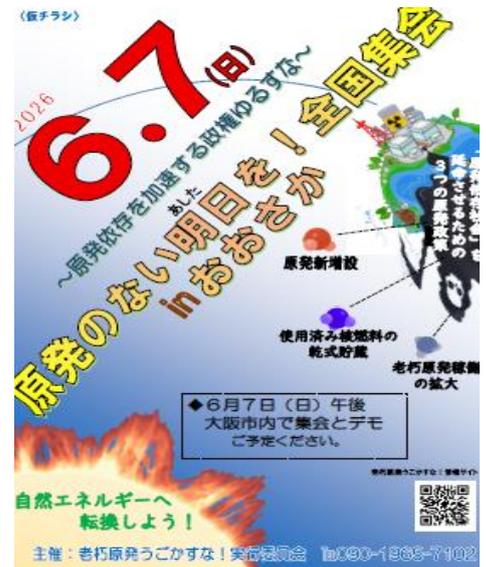
〈老朽原発うごかすな！実行委員会 橋田秀美〉

高市政権による、相次ぐ原発再稼働の動きなど、矢継ぎ早の「原発の最大限活用」が企まれています。関電は、福井県との約束・使用済み核燃料の県外搬出が果たせないまま、原発構内での乾式貯蔵で原発継続稼働を画策しています。

また、高市政権の「原発新增設」方針を先導する、美浜原発での原発新設に向けた地質調査を、11月に着工しました。

昨年末から年明けにかけて続発している核施設近辺での大地震や、浜岡原発での悪質な基準地震動のデータ捏造は「安全」を大きく揺るがすものです。

このような情勢に対して、私たちはどう運動を拡大させ闘うべきなのか。表記の相談会を企画し、原発のない明日を目指して6月7日大阪で全国集会を開催します。ぜひ多数の皆さんご参加願います。



3月8日に「ストップ川内原発！3・8かごしまパレード」開催

〈3・11 鹿児島実行委員会事務局長 杉谷健太〉

福島原発事故に合わせ、鹿児島市で「3・8かごしまパレード」を開く。九州電力は2025年10月、乾式貯蔵施設を建設するため、原子力規制委員会に原子炉設置変更許可を申請した。

鹿児島にとっての喫緊の課題は、川内原発延命のための乾式貯蔵施設建設問題だ。川内原発の使用済み核燃料プールは31年に満杯になる。九電は29年度に乾式貯蔵施設の運用を始めたいとしている。

老朽原発である川内1、2号機を延命させる乾式貯蔵施設建設は、私たち県民の命を脅かし続ける暴挙以外のなにものでもない。こんな愚策を認めるわけにはいかない。

私たちは県民に乾式貯蔵施設建設の問題点を知ってもらおうと、アンケート調査を実施し世論喚起を図ってきた。

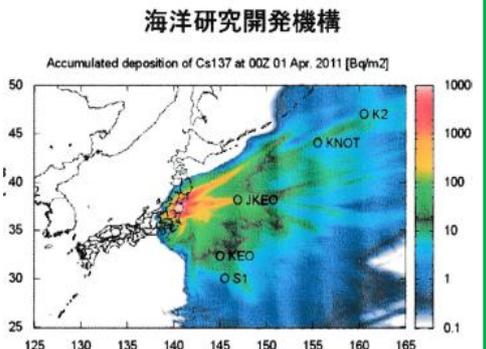
なんとしてでも乾式貯蔵施設建設を阻止し、未来のない原発の廃炉を実現しなければならない。



玄海原発地元から 〈佐賀県唐津市 吉田恵子〉

玄海原発上空に3つの光確認。落下物破壊になれば西日本一帯放射能汚染地域になる。セシウム137で比べたら、玄海原発には広島原爆セシウム137(89兆ベクレル)の数万倍の放射能がある。(使用済み核燃料1トンにつきセシウム137は1年後で約3700兆ベクレル)

福岡高裁は、原告適格は100km圏内だとあり得ない判断をした。定期検査中、作業員が内部被ばく。100ミリシーベルト未満で労災認定されず、病院名も明らかにされない。線量計で内部被ばくは測れない。体に入った放射性物質から出る飛距離が短いα線β線が体の設計図であるDNAを損傷し、癌や障がい発生させる。放射線は活性酸素を作り、それもDNAや細胞を損傷する。ビキニ水爆実験被災船員訴訟で、政府は被ばく線量0.92ミリシーベルト以下だからと影響を認めず救済もしていないが、船員の歯は広島原爆近くの線量だと推定されている。





偽造・捏造・デマ・隠蔽の原子力は今すぐ止める！

〈伊方から原発をなくす会 名出真一〉

今年で福島原発事故から15年になります。しかし事故処理の方法すら決まっています。伊方では残念ながら昨年7月から乾式貯蔵が開始されました。あくまでも再処理までの中間貯蔵の名目になっていますが、そんなことが嘘八百であることは誰の目にも明らかです。

使用済み燃料の行き場はなく、安全に保管できる保証すらありません。私たちは決して開けてはならない地獄の釜の蓋をすでに開けてしまっています。

今できることはこれ以上核のゴミを増やさないということしかありません。15年目の3.11には、伊方原発ゲート前での180回目のゲート前座り込みが行われます。四国電力本店前では原水禁、原水協、そして市民団体が連帯した抗議行動が予定されています。

いかに原子力に群がる亡者が足掻こうとも、原子力に未来はありません。労働者市民の力でとどめをさしましょう。



〔2025. 12. 20「伊方原発このまま廃炉」現地集会〕

データ捏造、中部電力に原発を動かす資格はない！

〈浜岡原発を考える静岡ネットワーク 沖 基幸〉

中電は、南海トラフ地震の想定震源域真上にあり危険な浜岡原発の審査で、意図的に地震の揺れを小さく計算し、審査をすり抜けていた。「明らかな捏造！」と規制委員会が激怒したが、その審査は、事業者が策定した基準地震動の評価結果と説明資料を見るだけで、第三者機関によるチェックもなく、事業者はズルをしないという性善説で成り立っている。

反対派が指摘してきた安全規制の欠陥が明らかになった。他の原発への再調査が必要になる。昨年2月、規制庁への外部通報（公益通報）で不正が発覚したのに、公表が柏崎刈羽原発や泊原発で再稼働の地元同意の後だったことに疑問が残る。

この事案は、地震国である日本で原発を動かすには犯罪的なデータ捏造をしなければ不可能であるということの中電自らが認めたことになった。中電に原発を動かす資格はない。



青森から

〈核燃料廃棄物搬入阻止実行委員会 中道雅史〉

原子力マフィアは、原発再稼働の足枷となっている「たまり続ける使用済み核燃料」問題を一気に解決し、全面的な再稼働への道突き進もうとしている。昨年12月、青森県のむつ使用済み核燃料中間貯蔵施設を巡って大きな動きがあった。

むつ中間貯蔵施設には東京電力が80%、日本原電が20%出資している。親会社2社だけの使用済み核燃料を、再処理を前提に一時貯蔵するとされている。すでに、東電柏崎刈羽原発からは2度にわたって搬入され、同原発の再稼働は前に進むこととなった。

2020年、電事連と経産省が施設の共同利用構想を県と市に申し入れてきた。これは、県やむつ市の反発で立ち消えになった。ところが、昨年12月19日、東電社長と原電社長が、他の電力会社に使用済み核燃料搬入の門戸を広げるといふ「事業者間連携」を、県と市に持ち掛けてきたのだ。事実上の共用案だ。とりあえずは、使用済み核燃料の保管容量がひっ迫している関西電力の救済だ。そしていったん関電の使用済み核燃料を受け入れたら、他の電力会社も次つぎ搬入を狙ってくるだろう。断じて許すことは出来ない。

東海第二原発を廃炉へ 首都圏の取り組み～

3つの行動について報告します。〈永野 勇 「とめよう！東海第二原発首都圏連絡会」〉

【日本原電本店前抗議行動】

毎月一回、第一水曜日(3月は11日)に実施しています。内容的には、主催者挨拶、脱原発スピーチ、参加者スピーチ、日本原電への申入・要請、脱原発楽曲演奏、100円カンパ、行動提起等であります。参加者は60名前後(去年の3月11日は117名)と低下傾向にあり、山場に向けて参加者をどう増やしていくのかという課題があります。



【各地での一斉行動】

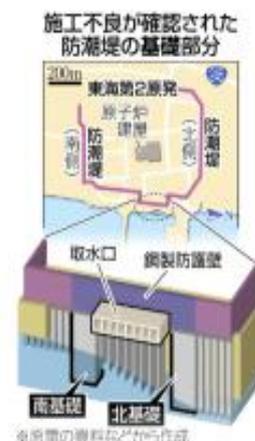
「東海第二原発いらない首都圏ネットワーク」の取組として、各地で駅頭等を中心にして一斉行動を3ヶ月に1回(3月、6月、9月、12月)実施。去年の12月で18回となりました。各地で創意工夫を凝らし、1人スタンディング等も実施されています。

この運動が東海第二原発廃炉運動を盛り上げる大きな力となっています。

【院内ヒアリング集会】

東海第二原発の取水口部防潮壁(鋼製防潮壁という)の2本の基礎に、コンクリートの未充填・鉄筋の変形等の欠陥があることが作業員の内部告発により明るみに出ました。その欠陥の大きさは、想像以上のものであり、私たちは規制庁との院内ヒアリング集会を2024年に1回、2025年は3回実施しました。

このヒアリングは今までと違い、工事が進行している中での取り組みとなり、「欠陥基礎は撤去し作り直し」を主張していますが、規制庁は、日本原電の「欠陥基礎はそのままとし、鋼管杭の追加と地盤改良」で問題なしとしており、今後は院内ヒアリング以外の取組を含めて、欠陥基礎ではダメという取り組みを続けていく予定です。



《再稼働阻止全国ネットワークからのお知らせ》

フクシマ原発事故から15年
とめよう 原発!
3.7全国集会
持続可能で平和な社会を

日時 2026年 3/7(土)
11:00 ブース出店開始
13:00 集会
14:30 パレード出発

主催: 3.7脱原発全国集会実行委員会
さようなら原発1000万人アクション実行委員会
03-5289-8224 http://sayonara-nukes.org/

フクシマ原発事故から 15年

「とめよう原発 3.7全国集会」

—持続可能な平和な社会を—

期日: 3月7日(土)

11:00 ブース開始

13:00 集会

14:30 パレード出発〈3コース〉

場所: 代々木公園B地区

主催: 3.7脱原発全国集会実行委員会

〔実行委員会構成団体〕

さようなら原発 1000万人アクション実行委員会

原発をなくす全国連絡会／脱原発福島ネットワーク

これ以上海を汚すな！市民会議

福島県平和フォーラム／反原発運動全国連絡会

原発事故被害者団体連絡会／脱原発をめざす首長会議

福島復興共同センター

【再稼働阻止全国ネットワーク事務局からの皆様へのお願い】

宅配便の制度変更に伴い、ニュース発送は郵便局を利用せざるを得なくなりました。送料がかさみ、同封チラシを制限しています。会費の納入とともにカンパをお願いする次第です。